

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	映像企画・取材学 (Scenario and Concept)		
ナンバリングコード	P11401	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 基礎レベル 映像デザイン
単位数	2	配当学年 / 開講期	1年 / 後期
必修・選択区分	コース必修:メディアデザインコース コース選択必修:情報コミュコース 選択:情報工学コース、こども・情報教育コース		
授業コード	P140151	クラス名	-
担当教員名	小島 康史		
履修上の注意、履修条件	情報デザインコースの必修科目です。 情報デザインコースを目指す諸君は、必ず受講しなければいけません。 皆さんの身近な表現メディア＝動画ニュース、新聞、雑誌記事、テレビ、DVD、映画、ラジオ放送などから流される情報を、「対象」と「目的」として考えながら見る習慣を付けておく。特に新聞は日頃から目を通しておくこと。		
教科書	教科書は使用しませんが、必要な資料は適宜配布します。		
参考文献及び指定図書	プレゼンテーションの極意(川崎 和男)		
関連科目	情報デザイン入門、映像機器学及び演習、映像構成・演出学及び演習、取材実践・編集学及び演習、情報デザイン総合演習		

○授業の目的・概要等							
授業の目的	どんな映像作品でもスタートはゼロからです。そこから企画を考え、取材をしていき、企画書をこしらえます。企画書がクライアントや仲間に受け入れられなければ、何事もスタートできないのが、映像世界の掟でしょう。こうした映像作品を作りたい！こんな映像作品を見てみたい！と思わせる説得力をもつ企画書、つまり企画書のA4の紙こそが、最初の演出表現となります。演出表現は、その映像作家の眼差しとも言えるもので、多くの人々から共感を得られるメッセージが込められたものです。芸術的なセンスも求められますが、あくまでもコミュニケーションツールです。つまり、「心に響くメッセージ」が求められています。 本科目では、情報デザインに欠かせない要素である映像表現のベースとなる企画構成力の習得を目標に、取材交渉を重ねながら、情報デザイン＝「自ら表現したいもの(演出)」を醸成します。						
授業の概要	受講者一人ひとりが、大学近辺の人物を対象にしたドキュメンタリーの企画を考える。どうしてその企画を考えるように至ったのか？ 企画の面白さや発見を通して普遍的なテーマを導き出したい。さらに自らの企画意図を他者に伝える企画書を作成し、スタッフの理解を得られるようにしたい。次に企画案について検討・討論し、企画に賛同するスタッフによるグループを形成する。グループは取材対象者に最低2回はインタビューなどを行い、それらの音声や写真を切り出し・選び出しを行い、テーマや演出意図に即した最終的に10分程度にまとめた発表を行う。発表後には質疑応答や講評を行います。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「講義形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>グループワーク 他</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「講義形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	グループワーク 他
(1) 授業の形式	「講義形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	グループワーク 他						
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	小島康史 本授業の学習対象である映像企画取材の分野(プロモーション、記録、ドキュメンタリー、映画、テレビ、CM等)において、ディレクター、プロデューサー業務を30年間従事している。						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	綿密な調査や集積できた情報の整理を行い、対象や目的に沿った発表(長さは8分前後)ができる。		20点	5点
【知識・理解】	綿密な調査や集積できた情報の整理を行い、対象や目的に沿った発表(長さは8分前後)ができる。		25点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	綿密な調査や集積できた情報の整理を行い、対象や目的に沿った発表(長さは8分前後)ができる。		15点	
【思考・判断・創造】	綿密な調査や集積できた情報の整理を行い、対象や目的に沿った発表(長さは8分前後)ができる。		20点	5点
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。				

○その他
作品発表・レポート等の学習成果課題のフィードバック方法は、教員のコメントを添えて返却します。

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：映像企画・取材学 (Scenario and Concept) 担当教員：小島 康史	授業コード:P140151
学修内容		
1.	企画の発想法を習得する。まずは身近な新聞から題材を選び出し、どのようなところが自分にとって面白いのか検証する。	
	予習：新聞を活用して、興味のある人物をピックアップする。(約2.0h) 復習：企画の成立要素を検証する。(約2.0h)	
2.	個人による企画を持ち寄り発表を行う。質疑応答をはかる。企画案がどの程度興味を沸かせるものか検証する。	
	予習：新聞やインターネットを活用して、興味のある人物をピックアップする。(約2.0h) 復習：企画する人物が置かれた環境について調査する。(約2.0h)	
3.	再企画案の発表を行い、質疑応答をはかる。自分が描く世界観と他者が描く世界観との相違を検証する。	
	予習：人物の魅力について検証する。(約2.0h) 復習：登場人物の周辺取材について調査をする。(約2.0h)	
4.	最終的な企画案の発表を行い、スタッフと質疑応答をはかる。グループによって項目ごとの調査を行う。	
	予習：企画のテーマについて考察する。(約2.0h) 復習：企画書の作成。(約2.0h)	
5.	企画案を決定する。企画案を作品発表が出来る程度のグループに絞り込む。	
	予習：企画案の吟味と参加する企画について検証する。(約2.0h) 復習：企画案の検討と役割分担を考える。(約2.0h)	
6.	グループ取材を行うために対象者との取材交渉、及び調査と周辺取材。素材の面白さや発見をすることによって、テーマを探っていく。	
	予習：取材におけるアポ取りと質問を考える。(約2.0h) 復習：テーマの確認とサブテーマの考察。(約2.0h)	
7.	取材対象者にどのような話を聞きだしたのか質問事項をまとめる。	
	予習：質問事項の検討。(約2.0h) 復習：取材対象に関する情報収集。(約2.0h)	
8.	取材対象者に第1回目の取材を行う。事前取材からの発見や疑問点、発展させたい項目を話し合う。	
	予習：録音、撮影機器の確認と戦略を練る。(約2.0h) 復習：インタビューの文字起こし作業。(約2.0h)	

○授業計画	科目名：映像企画・取材学 (Scenario and Concept) 担当教員：小島 康史	授業コード:P140151
学修内容		
9.	第1回目の取材をまとめる。取材した中での被写体の重要な主張の抜き出しと写真の選び出し。構成案の検討。	
	予習：文字起こしより興味あるところを抜粋する。(約2.0h) 復習：不足している項目の洗い出しを行う。(約2.0h)	
10.	第1回目の取材をもとに、多角度から検証と保管を行うために資料やデータを収集する。	
	予習：インタビューからさらに深く知りたいことを考察する。(約2.0h) 復習：周辺調査と情報収集。(約2.0h)	
11.	第1回目の取材結果から予測・導き出される発見やテーマを話し合う。	
	予習：テーマについて考察する。(約2.0h) 復習：構成要素について考察する。(約2.0h)	
12.	取材対象者に第2回目の取材を行う。前回の取材からの発見や疑問点、発展させたい項目を話し合う。	
	予習：インタビュー項目を考える。(約2.0h) 復習：インタビューの文字起こし作業。(約2.0h)	
13.	第2回目の取材をまとめる。取材した中での被写体の重要な主張の抜き出しと写真の選び出し。構成案の再検討。	
	予習：被写体の魅力と発見を考察する。(約2.0h) 復習：構成案を制作する。(約2.0h)	
14.	作品テーマの最終決定。テーマが作品の中心に据えられているのか。無理の無い構成となり得ているか。	
	予習：構成暗に沿った演出プランを考える。(約2.0h) 復習：写真や録音抜粋の選定作業を行う。(約2.0h)	
15.	作品を完成させる。グループによる演出プラン通りの作品となり得ているのか。	
	予習：パワーポイントの制作をする。(約2.0h) 復習：作品の演出について最終的な確認を行う。(約2.0h)	
16. 期末試験	グループによる作品発表を行う。発表時間は10分。パワーポイントを使用し、取材を基にした音声や写真を用いて構成する。	
	予習：作品発表のリハーサルを行う。(約2.0h) 復習：作品の考察を行ったレポートをまとめる。(約2.0h)	